

2030年連続生産実装化へのロードマップ・正念場編 連続生産実装化に向けた 連続生産プロセスの開発の実際【LIVE配信】

- ◆日時：2020年10月26日(月) 12:30～16:30
 - ◆会場：自宅や職場など世界中どこでも受講可
 - ◆受講料：1名につき49,500円(税込、資料付)
- ※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
- ・1名でお申し込みされた場合、1名につき**46,200円(税込)**
 - ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,500円(税込))**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】

(株)iFactory 代表取締役 齊藤 隆夫 氏

《専門》有機金属触媒化学、プロセス化学、連続フロー生産

《活動》高砂香料工業(株) フェロー、(株)iFactory 代表取締役、フロー精密合成コンソーシアム(FlowST) 幹事、FlowST連続生産社会実装部会 代表、NEDO技術委員

【講座の趣旨】

人口減少社会となった日本では、従来型の生産モデルは既に崩壊している。2030年には将来を見据えた5,000万人型の省人化生産の準備が必要である。そして新たな課題、新型コロナウイルス感染症拡大による「社会距離戦略」の必然性から生産現場のリモート化「全自動連続化」が急務に。最小限の設備で、必要ときに必要なモノを必要な量だけ生産する連続フロー生産の実装化を目指し、原料導入から、反応、洗浄、溶媒交換、晶析、ろ過、乾燥、そしてパッケージングまでの全自動連続化についてNEDO事業を介してレディーメイド化を進めている。本講演では、正念場を迎えたNEDO事業「戦略的省エネルギー技術革新PG」全自動連続生産システムiFactoryの構築について紹介する。

【プログラム】

1.はじめに

- 1-1縮小社会日本の製造業が直面する課題
- 1-2日本が新興国に対抗するためのコストダウン目標は？
- 1-3大量生産から多品種少量生産への戦略転換
- 1-4新たな課題、社会距離戦略下における新たな生産様式

2.化学産業の連続化はなぜ進まない？

- 2-1身近に接する連続化の数々

3.そもそも連続生産とは？

- 3-1バッチ生産と連続生産の違い/FDAエンジニアリングからの定義
- 3-2バッチ生産と連続生産のメリット・デメリット
- 3-3タービュラント・フローとラミネーター・フロー

4.世界最先端の連続生産プロセス開発の実際

- 原料投入から乾燥、分注まで全ての単位操作の連続化
- 4-1空筒流通型反応器を用いた連続製造
- 4-2固体が関わる場合の連続製造

-反応部分の連続化だけでは“銀メダルは獲れない”

- 4-3粉体投入の連続化
- 4-4洗浄工程の連続化
- 4-5晶析の連続化
- 4-6負荷の高いろ過工程の連続化
- 4-7フロー反応器の洗浄
- 本気でやるなら洗浄まで
- 4-8プロセス・レシピ・エンジニアリングが重要なカギ

5.連続生産における分析の考え方

- 5-1連続生産のメリットを最大化するための連続分析とは

6.欧米の動向

- 世界の目指す連続生産とは・・・「驚愕のゴール」
- 6-1Make-it Program (USA) について
- 6-2One-Flow Project (EU) について

7.2030年、連続生産実装化へのロードマップ

- 7-1NEDO事業「戦略的省エネルギー技術革新PG」の正念場 【質疑応答等】

『連続生産』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。		<input type="checkbox"/> Eメール <input type="checkbox"/> 郵送	

●セミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的に受け付けておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>